

工 事 仕 様 書

工事名称 三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事

工事場所 三原市宮浦二丁目

工事内容 本工事は、三原市芸術文化センターの舞台吊物設備の更新を行う。

【工事概要】

舞台バトンワイヤーロープ及び滑車取替 10か所

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部 監修) に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・ 建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・ 消防法、同施行令
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・ 労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・ 建設業法、同施行令、同施行規則
- ・ 建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・ 石綿障害予防規則
- ・ 大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・ 建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・ その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負代金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和9年3月11日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいます。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は、週休2日適用工事等の対象工事ではない。
- ・当該施設の営業及び運営等への支障を最小限にするため、工事工程及び作業手順等は最大限の配慮をすること。
- ・当該施工箇所の休館期間は、令和9年1月11日から同年1月30日を予定しており、その期間内にすべての工事を行うものとする。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データとすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・工事の詳細については、事前に施設管理者へ説明を行い、承諾を得ること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（二つ折り・A4版）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A1判をA3判に縮小している。（縮小率約50.0%）

三原市芸術文化センター

舞台吊物設備更新工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	図面リスト	N/S
M-02	特記仕様書	N/S
M-03	吊物仕様書	N/S
M-04	断面図	A1:1/60
M-05	平面図	A1:1/60
M-06	客席すのこ機器配置図	A1:1/50
M-07	下段すのこ機器配置図	A1:1/50
M-08	上段すのこ機器配置図	A1:1/50
M-09	元滑車参考図	A1:1/3
M-10	枝滑車・動滑車・ワイヤロープ参考図	A1:1/4
M-11	バトン吊り金具参考図	A1:1/3



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考	工事名	図面名称	縮尺	図面番号	校の内 号図
				。。		三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図	図面リスト	N/S	M-01	

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。

舞台機構設備 特記仕様書

工事概要	<p>工事名称 三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事</p> <p>工事場所 三原市宮浦二丁目</p> <p>工事内容 1) 舞台機構設備工事</p>
一般事項	<p>1. 適用範囲 本特記仕様書は、上記の工事概要における工事内容に適用する。</p> <p>2. 適用規準類 本特記仕様書を適用するにあたって、建築基準法、労働安全衛生法等の法令、規則による他、必要に応じて、以下に定める指針、規準、規格等を適用する。ただし、本工事に関係しない事項は適用しない。 懸垂物安全指針・同解説（日本建築センター） 建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター） J A T E T - M - 6 0 3 0 - 4 吊物機構安全指針・同解説（劇場演出空間技術協会） J A T E T - M - 5 0 4 0 - 2 床機構安全指針・同解説（劇場演出空間技術協会） 日本産業規格（JIS）、日本電機工業会標準規格（JEM）、日本電気規格調査会標準規格（JEC） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版</p> <p>3. 設計図書 設計図書とは、本特記仕様書及び、図面（現場説明書及び、質疑応答を含む）をいう。</p> <p>4. 基準強度 機器機材の強度は、建築基準法の規定及び各種基準による他、用途、使用頻度、荷重状況、信頼性等を考慮して、各メーカーの示す選定条件を満たすものとする。</p> <p>5. 使用機材 機材等の指定がある場合は、該当する機材を使用し、特記なき場合は新品とし、日本産業規格品若しくは同等品を使用する。</p> <p>6. 工場社内検査 各機器の外形寸法検査、巻上機等の無負荷運転を行う。速度、電流、電圧を測定する。各検査状況を写真及びデータで記録し提出する。</p> <p>7. 現場管理 本改修工事は労働安全衛生法等の関係法令の規定により施工し、工事工程は監督職員と打合わせの上、工程表を作成し、監督職員の承諾を受け、契約期間内に完全に施工すること。</p> <p>8. 養生その他 工事を施工するに当たり既設建物及び既設設備が損傷・汚損の恐れがある場合は養生し、十分注意施工すること。万一損傷・汚損した場合は、速やかに適切な処置をとると共に、監督職員に報告し、指示がある場合はこれに従うこと。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。舞台面については、工事部外者が立ち入ることの出来ないように安全柵、表示を行うこと。</p> <p>9. 既設設備の確認 工事施工者は工事着手に当り、事前に現場調査を行うこと。設計図書とのくい違い及び記載されていない内容については、着手前にその内容について監督職員と協議を行うこと。各設計図に記載する既設寸法等については参考寸法であるため施工前に現場実測を行い、監督職員と速やかに協議を行うこと。</p> <p>10. 施工計画書等 工種別に、機器、機材、工法などを具体的に定めた施工計画書を作成し監督職員の承諾を受ける。</p> <p>11. 工事記録写真 各工事段階（工事前、工事中、完成後）の工事写真を整理し補足説明を付けて提出する。特別提出方法がなき場合、電子媒体で作成したものを提出する。</p> <p>12. 発生材の処理 工事中に発生した撤去材、残材等は関係法令に準拠し、適正に処理すること。鉄、ワイヤロープ類は再資源化施設にて処理すること。</p> <p>13. 試運転 各部確認の上試運転を行い騒音、振動、異常等のチェックし、異常のあった場合は処置を行った上、速度、電圧、電流等を測定し記録する。工事完了後、（社内運転成績書）報告書を提出すること。</p> <p>14. 完成図書 工事完了後、完成図を作成し提出する。完成図の作成にあたっては、設計図書（承認図）を訂正して完成図としてよい。</p> <p>15. コリンズへの登録 工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として登録機関に登録をする。</p> <p>16. 品質確保 本工事は、舞台演出空間における高度な安全性と専門技術が求められるため、以下の要件を満たす施工業者及び体制を有する者に限定するものとする。 1) 建設業許可および施工能力 ・建設業法に基づく「機械器具設置工事業」の許可を受けていること。 2) 技術的専門性および安全基準への適合 ・公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）の正会員であり、最新の「舞台機構安全指針」に基づいた安全管理体制を構築できること。 3) 品質管理及び保守体制 ・ISO 9001の認証を取得しており、適切な品質管理体制が整備されていること。 ・緊急対応能力：故障による公演中止等の損害を防止するため、本現場（広島県三原市）に対し、緊急連絡から概ね1時間以内に専門技術者が現地に到着し、復旧作業を開始できる体制を有すること。 ・拠点要件：迅速なアフターフォローのため、広島県に本工事を管轄する技術拠点を有すること。 4) 既設機器（更新対象外）と本工事更新機との整合確認 ・現在施工契約中の舞台機構保守点検業者に対し、事前に製作図他必要資料を提示し十分に協議し確認を取ること。その後、監督職員の承認を受け機器製作にりかかるとのこと。 ・本工事において現在施工契約中の舞台機構保守点検業者により工事期間内に既存機器との機能運動を確認すること。※これらにかかる費用については受注者の負担とする。</p> <p>17. 特記事項 1) 既存設備の仕様把握と施工の安全性 本改修工事は、既設の機構・配線・制御ロジックを正確に把握していることが不可欠である。不測の事態による事故を防止するため既存設備の内部構造、制御ロジックおよび特殊部品の仕様を正確に把握すること。</p>

※吊物機構 機器性能	<p>1. 電動機 機構の用途、荷重、昇降（移動）速度、起動停止制御、速度制御、周囲環境等に適した形式、容量のものを選定する。</p> <p>2. 減速機 荷重、減速比、使用時の回転数（変速機にあっては回転数範囲）、効率、逆転効率等の適したものを選定する。</p> <p>3. ブレーキ 機構の荷重、速度、制動時の滑り等に適したものであり、電動機の起動、停止と連携して動作すること。ブレーキの保持はスプリングによるなど動力を必要としない方式とする。昇降する装置のブレーキトルクは定格積載の停止時に必要なトルクの150%以上とする。水平移動の装置にあっては定格運転トルク100%以上とする。</p> <p>4. マシンベース 十分な強度の部材を組合せた上に、電動機、減速機などの各機器を精密に組立、複数のボルト、又はアンカーボルトで固定する。</p> <p>5. 巻取ドラム 巻溝は使用するワイヤロープに適した形状とし、巻取ドラムの直径は使用するワイヤロープの公称径またはロープ径の30倍以上とする。巻取ドラムの巻溝と巻取るワイヤロープとのなす角度は4度以下とする。</p> <p>6. トラクションシープ 索溝は使用するワイヤロープに適した形状とし、直径は使用するワイヤロープの公称径またはロープ径の30倍以上とする。</p> <p>7. 歯車 荷重、減速比により選定された材質、寸法のを機械加工し、回転を確実に伝達する構造とする。</p> <p>8. 伝達軸 目的に応じた材質、寸法のを機械加工し、適切な継手及び軸受で固定する。</p> <p>9. 滑車類（枝・元・横滑車） 用途、荷重に適したものを堅固に据え付ける。滑車のワイヤ溝とワイヤロープとのなす角度（フリートアングル）は2度以下とする。ワイヤ溝は使用するワイヤロープに適した形状とし、そのピッチ直径は使用するワイヤロープ径の2.5倍以上とする。材質は鋳鉄、鋼製、またはナイロン樹脂とする。ただし滑車の直径については、ワイヤ受け車等の荷重の支持を目的としないもの及び安全上支障のない用途ではこの限りではない。</p> <p>10. フレーム 使用目的、強度、並びに重量等を考慮した材料を溶接、又はボルト止めする。組立ボルトは中ボルトを使用し、懸垂荷重等による応力・変形に十分耐えうる構造とする。</p> <p>11. ワイヤロープ JISマーク表示品またはこれと同等の製品とする。ワイヤロープに加わる荷重は、定格積載の吊物静止時においてJIS破断荷重の1/10以下とする。ワイヤロープと吊物機器との接続は緊結する。</p> <p>12. 引綱ロープ 引綱ロープに加わる荷重は定格積載の吊物機構静止時において、そのロープの引張強さの1/10以下とする。</p> <p>13. 幕開閉ロープ 用途に応じたロープを使用する。</p> <p>14. カーテンレール 用途、荷重に応じた形式、材質のレールを使用し吊荷重に耐え、幕の開閉が円滑に行える構造とする。開閉ランナーは、軸部にベアリング入りとする。</p> <p>15. ロープロック 引綱ロープを容易に固定でき解除が容易に行えるものとし、分銅と吊物がバランスされている時のズレ止めとする。</p> <p>16. 手動巻取式 定格積載に応じたハンドル式とし、手を離してもブレーキがきき、逆転しない構造とする。滑車・巻取ドラムの直径は、使用するワイヤロープ径の1.5倍以上とする。</p> <p>17. バトン 使用するバトンパイプには構造用鋼管、配管用炭素鋼管等を使用する。継ぎ目には芯を入れ溶接、ボルト（ネジ）等で固定する。塗装方法は焼付塗装とする。</p> <p>18. ラダーバトン 上下2段のバトンを短冊型のプレートで溶接してつなぎ、梯子形に組み立てたバトンである。積載荷重の比較的大きいバトンまたはバトンの曲がりを少なくする場合等に使用される。</p>
※床機構 機器性能	<p>1. 機構方式 電動で駆動する機構は以下の方式とする。 ・ラック・ピニオン式 ・ネジ（スクリュウ・ナット）式 ・ワイヤロープ又はチェーン式 ・フリクション式 ・シザース式 ・レパー式 ・カム式 ・油圧式 ・スパイラルジャッキ式 ・エア浮上式</p> <p>2. 電動機 電動機は起動時、加減速時、定常運転時とも電動機に許容される負荷容量以下で使用される。</p> <p>3. 減速機 減速機は入力動力、出力トルク、回転速度、減速比などを考慮して、適した方式（ウォーム、ベベル等）仕様のを選定する。</p> <p>4. ブレーキ ブレーキは動力が供給されていないときにスプリングなどによってブレーキトルクが発生する方式とする。ブレーキトルクは昇降、傾斜など重心の上下移動をともなう床機構では定格積載の停止時に停止状態を保つために必要なトルクの150%以上とする。走行、旋回などの水平移動では定格運転トルクの100%以上とする。</p> <p>5. ラック・ピニオン 床機構に使用する歯車、ラック・ピニオンは用途、荷重等に適した材質、形状とする。</p> <p>6. スクリュー、ナット 床機構に使用するスクリュウは用途、荷重等に適した材質、形状とする。スクリュウに使用するナット（継ネジ）も同様とする。</p> <p>7. チェーン 床機構の昇降、吊下げ、水平移動に使用するチェーンはJISマーク表示品またはこれと同等の強度を有する製品とする。昇降に使用するチェーンは、原則として2本以上のチェーンを使用する。チェーンの荷重は、定格積載の静止時JIS破断荷重の1/10以下とし、起動停止時または地震時においてJIS破断荷重の1.5/10以下とする。</p> <p>8. スパイラルリフト 荷重、速度等の使用条件に対して、製造所の推奨するサイズを選定する。</p> <p>9. フレーム 床フレームは、床機構の荷重に応じた構成とし、JIS規格の鋼材を使用する。部材の応力度は所定の荷重の荷重に対し許容応力度以下、たわみは支持スパンの1/300以下になるようにする。</p> <p>10. マシンベース マシンベースは設置される機器に応じた構成とし、JIS規格の鋼材を使用する。電動機、減速機などの各機器が振動したり移動したりしないような構造とする。</p>

※電気工事 機器性能	<p>1. 制御盤 各装置の使用目的に応じた配線用遮断器・電磁接触器・補助継電器・端子台等を取付板に組立てる。操作盤（操作部）の操作に対して、舞台機構を適切に起動停止し、速度等を制御する。</p> <p>2. 操作盤 操作盤形状 ・壁面自立型 ・壁面埋込型 ・床面固定型 ・可搬式操作パネル・その他 操作に必要な総ての押釦・表示灯等を組込む。配列・タッチ機能付等、監督員との協議の上決定する。</p> <p>3. 機能 ・可変速機能 ・グループ運転機能 ・位置決め機能（レベル設定） ・過積載検知機能 ・過積量数値表示機能</p> <p>4. 配管配線 電線、ケーブル、電線管、ケーブルラック等の選定は、監督員との協議の上決定する。</p> <p>5. リミットスイッチ 動力を用いた機構もしくは電気的な確認を必要とする機構において、使用条件に応じ、プランジャ型、ローラレバ型等のリミットスイッチをカム、けり金具、又はフレーム本体等で動作させ、用途上必要な停止位置、動作範囲の限度、または確認位置で自動的に電気回路の開閉が行えるものとする。</p> <p>6. ファイナルスイッチ 上層・下層停止位置（開閉停止位置）を超えた位置にリミットスイッチ等を設け巻上機の起動・停止回路より上位の電源を遮断させる。異常動作を確実に検出できるように、バトンパイプの上昇またはカウンターウェートの昇降から検出することを原則とする。電動巻取式バトン等の下層ファイナルスイッチはワイヤードラムの動きから検出してもよい。</p> <p>7. インバータ 制御方式は、正弦波パルス幅変調方式とする。高調波ノイズ対策用として零相リアクトル、（ラインノイズフィルタ）付とする。高調波流出対策用としてACリアクトルまたはDCリアクトル付とする。</p> <p>8. レベル設定機能 PLCまたはPCを使用し、操作スイッチ、テンキーにより、装置停止位置、速度を指令する。各装置は設定された速度で実行され、パルスエンコーダの値が指令値と一致する時、自動的に停止する。装置、現在値等をモニタに表示させる。</p> <p>9. 過負荷防止装置 荷重が設計荷重（許容荷重）以上になった時、駆動装置の作動を自動的に停止、または警報を発する。（懸垂物安全指針・同解説の適用範囲のものに限る。）</p>																																																							
※幕工事	<p>1. 幕の種類 ・別珍貫八 ・ベルベット ・レーヨンベルベット ・11号頒布 ・ワールサージ ・別織地 ・かつらぎ地</p> <p>2. 幕 地 仕様書及び設計図書に基づき、各幕地の製作及び吊込みをする。各幕地は見本品を提出し、監督員の承諾を受けた後、仕立てを行う。製作に際し消防法に基づき防火加工を施し、防火マークを各幕地（裏面）に貼り付ける。各幕上部には、吊り下げに必要な幅を約300mmピッチに取付ける。中央の紐は、色の異なる紐とする。但し張込みスクリーン等特殊な幕はこの限りではない。</p> <p>3. 縦横クリーニング 現地で取外した幕地はクリーニング後、防火加工及び仕立て加工を行う。クリーニングは埃を除去した後、専用の洗浄剤にてブラッシングを行い吸引する。クリーニング後薬剤の噴霧散布にて防火処理を行う。完了後に裏地、チチ紐パイプ袋等必要部材を縫製加工し現地搬入吊込みを行う。</p>																																																							
※その他 塗装	<p>1. 塗装 工場において加工及び部品製作後、仮組調整を行い、仮検査終了後、本検査・出荷に先立ち錆止め塗装、仕上げ塗装を施す。但し現場溶接は現場塗装をする。 刷毛塗り、刷毛目を揃え、塗り落とし、たまり、流れあわ等の欠点の生じない様に一様に塗る。吹き付け塗装には、塗装用のスプレーガンを用い、ガンの種類、口径及び空気圧は用いる塗料により適切なものを選び、吹きむらのないように塗装する。鋼材を用いた主要な部材は、表-1による。 制御盤・操作盤は製作者の標準仕様による。また焼付塗装に標準仕様がない場合は表-2による。（塗装色については、監督職員と協議の上決定する。）</p> <p>・表-1 合成樹脂調合ペイント塗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 程</th> <th>塗装回数</th> <th>塗 装 種 別</th> <th>重ね塗り乾燥時間</th> <th>膜厚 μm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>素地調整</td> <td>不織布研磨剤、ワイヤブラシ、スクレーパ等で錆鏝及び浮きミルスケールは出来るだけ除去する。水分、油成分、塵埃は清拭する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下 塗</td> <td>JIS K 5621 1種 超速乾燥止ペイント</td> <td>4時間以上</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上 塗</td> <td>JIS K 5516 1種（相当）合成樹脂調合ペイント</td> <td>1時間以上</td> <td>25以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">総合膜厚 55 μm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>・表-2 メラミン樹脂焼付塗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 程</th> <th>塗装回数</th> <th>塗 装 種 別</th> <th>焼付温度乾燥時間</th> <th>膜厚 μm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>塗装前処理</td> <td>脱脂</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>パテ処理（必要箇所のみ）</td> <td>ポリエステル樹脂パテ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>下 塗</td> <td>アミノアルキド樹脂系下地塗料</td> <td>塗装仕様による</td> <td>25以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>上 塗</td> <td>メラニアルキド樹脂系塗料</td> <td>塗装仕様による</td> <td>25以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">総合膜厚 50 μm以上</td> </tr> </tbody> </table>	工 程	塗装回数	塗 装 種 別	重ね塗り乾燥時間	膜厚 μm	1	素地調整	不織布研磨剤、ワイヤブラシ、スクレーパ等で錆鏝及び浮きミルスケールは出来るだけ除去する。水分、油成分、塵埃は清拭する。			2	下 塗	JIS K 5621 1種 超速乾燥止ペイント	4時間以上	30以上	3	上 塗	JIS K 5516 1種（相当）合成樹脂調合ペイント	1時間以上	25以上	総合膜厚 55 μm以上					工 程	塗装回数	塗 装 種 別	焼付温度乾燥時間	膜厚 μm	1	塗装前処理	脱脂	-	-	2	パテ処理（必要箇所のみ）	ポリエステル樹脂パテ	-	-	3	下 塗	アミノアルキド樹脂系下地塗料	塗装仕様による	25以上	4	上 塗	メラニアルキド樹脂系塗料	塗装仕様による	25以上	総合膜厚 50 μm以上				
工 程	塗装回数	塗 装 種 別	重ね塗り乾燥時間	膜厚 μm																																																				
1	素地調整	不織布研磨剤、ワイヤブラシ、スクレーパ等で錆鏝及び浮きミルスケールは出来るだけ除去する。水分、油成分、塵埃は清拭する。																																																						
2	下 塗	JIS K 5621 1種 超速乾燥止ペイント	4時間以上	30以上																																																				
3	上 塗	JIS K 5516 1種（相当）合成樹脂調合ペイント	1時間以上	25以上																																																				
総合膜厚 55 μm以上																																																								
工 程	塗装回数	塗 装 種 別	焼付温度乾燥時間	膜厚 μm																																																				
1	塗装前処理	脱脂	-	-																																																				
2	パテ処理（必要箇所のみ）	ポリエステル樹脂パテ	-	-																																																				
3	下 塗	アミノアルキド樹脂系下地塗料	塗装仕様による	25以上																																																				
4	上 塗	メラニアルキド樹脂系塗料	塗装仕様による	25以上																																																				
総合膜厚 50 μm以上																																																								

<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">三原市役所</p> <p>三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111</p>	課長	係長	設計	校閲	日付	備考	工事名	三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図	図面名称	特記仕様書	縮尺	N/S	図面番号	M-02	校の内 図号
	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。

吊物機構略仕様

No.	装置名称	機構方式	駆動方式	ローリング	出力 (kw)	速度 (m/min)	ワイヤ径 (mm)	吊点	自重 (kg)	荷重 (kg)	寸法 (mm)	制御方式	備考	更新内容					
														元滑車	枝滑車	動滑車	吊金具	ワイヤ	備考
1	緞帳	昇降	電動ドラム巻取り式	—	30	9~80	6	8	150	1,170	21,500	インバータ		—	—	—	—	—	
2	暗転幕	昇降	電動ドラム巻取り式	—	7.5	9~80	6	8	100	200	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
3	引割緞帳(間口調整用)	昇降	電動ドラム巻取り式	—	15	6~60	6	8	100	650	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
		開閉	電動トラクション式	—	1.5	5~45	—	—	—	—	—	—	インバータ	ランナー;リアフォールド	—	—	—	—	—
4	バトン1	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
5	バトン2	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	10	100	400	24,600	直入れ始動	袖幕1共吊り	—	—	—	—	—	
		開閉	手動引紐式	—	—	—	—	—	—	—	7,000	—	ランナー;リアフォールド	—	—	—	—	—	
6	ボーダーライト1	昇降	電動ドラム巻取り式	—	2.2	10	6	8	200	700	23,000	直入れ始動	一文字幕1共吊り	—	—	—	—	—	
7	サスペンションライト1	昇降	電動ドラム巻取り式	—	3.7	10	6	8	100	1,200	23,000	直入れ始動		○	○	—	○	○	
8	バトン3	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
9	バトン4	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
10	バトン5	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ	一文字幕2共吊り	—	—	—	—	—	
11	バトン6	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	10	150	400	26,200	直入れ始動	中割幕1共吊り	—	—	—	—	—	
		開閉	手動引紐式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ランナー;リアフォールド	—	—	—	—	—	
12	スクリーン	昇降	電動ドラム巻取り式	—	2.2	5	6	8	850	450	6,760×3,750	直入れ始動	ボーダーライト2、一文字幕3共吊り	—	—	—	—	—	
13	バトン7	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
14	サスペンションライト2	昇降	電動ドラム巻取り式	—	3.7	10	6	8	100	1,200	23,000	直入れ始動		○	○	—	○	○	
15	天井反射板	昇降	電動ドラム巻取り式	1:2	11	2	16	6	15,600	400	17,877×9,530	インバータ	下バトン8付	—	—	○	—	○	
		変角	電動ドラム巻取り式	—	1.5	2	9	6	—	—	—	直入れ始動		—	—	—	—	○	
16	バトン9	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
17	バトン10	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
18	バトン11	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ	一文字幕4共吊り	—	—	—	—	—	
19	バトン12	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	10	150	400	28,200	直入れ始動	中割幕2共吊り	—	—	—	—	—	
		開閉	手動引紐式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ランナー;リアフォールド	—	—	—	—	—	
20	サスペンションライト3	昇降	電動ドラム巻取り式	—	3.7	10	6	8	100	1,200	23,000	直入れ始動		○	○	—	○	○	
21	バトン13	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
22	バトン14	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		○	○	—	○	○	
23	バトン15	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
24	バトン16	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	10	100	400	25,200	直入れ始動	袖幕2共吊り	—	—	—	—	—	
		開閉	手動引紐式	—	—	—	—	—	—	—	7,000	—	ランナー;リアフォールド	—	—	—	—	—	
25	バトン17	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
26	アッパー水平ライト	昇降	電動ドラム巻取り式	—	3.7	10	6	8	200	800	23,000	直入れ始動	一文字幕5共吊り	○	○	—	○	○	
27	正面反射板	昇降	電動ドラム巻取り式	1:2	7.5	2	14	6	11,500	150	15,200×10,250	インバータ	看板用バトン付	—	—	○	—	○	
28	バトン18	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	400	23,000	インバータ		—	—	—	—	—	
29	バック幕	昇降	電動ドラム巻取り式	—	5.5	3~30	6	8	100	350	24,200	インバータ		—	—	—	—	—	
30	水平幕	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	8	100	350	24,200	直入れ始動		—	—	—	—	—	
31	プロセニアムサスペンションライト	昇降	電動ドラム巻取り式	—	1.5	10	6	6	100	500	17,000	直入れ始動		—	—	—	—	—	
32	下手側面反射板	昇降	電動ドラム巻取り式	1:2	5.5	2	18	2	8,800	—	9,911×12,423	直入れ始動		—	○	○	—	○	
33	上手側面反射板	昇降	電動ドラム巻取り式	1:2	5.5	2	18	2	8,800	—	9,911×12,423	直入れ始動		—	○	○	—	○	

工事内容の凡例

○	既設同等品更新
—	該当なし



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲

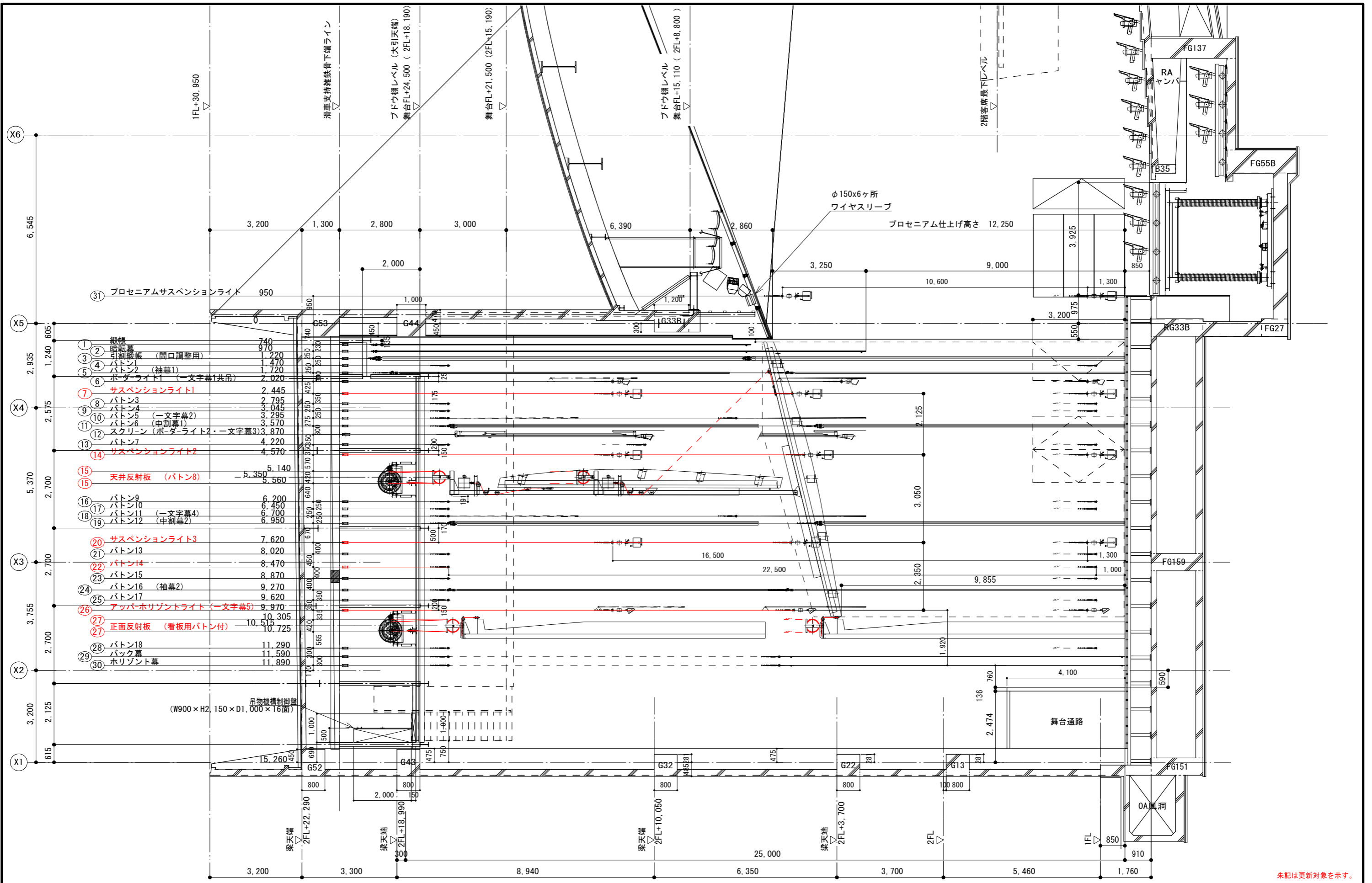
日付	。	。
	。	。

備考	

工事名	三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図
-----	--------------------------

図面名称	吊物仕様書	縮尺	N/S	図面番号	M-03
------	-------	----	-----	------	------

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。

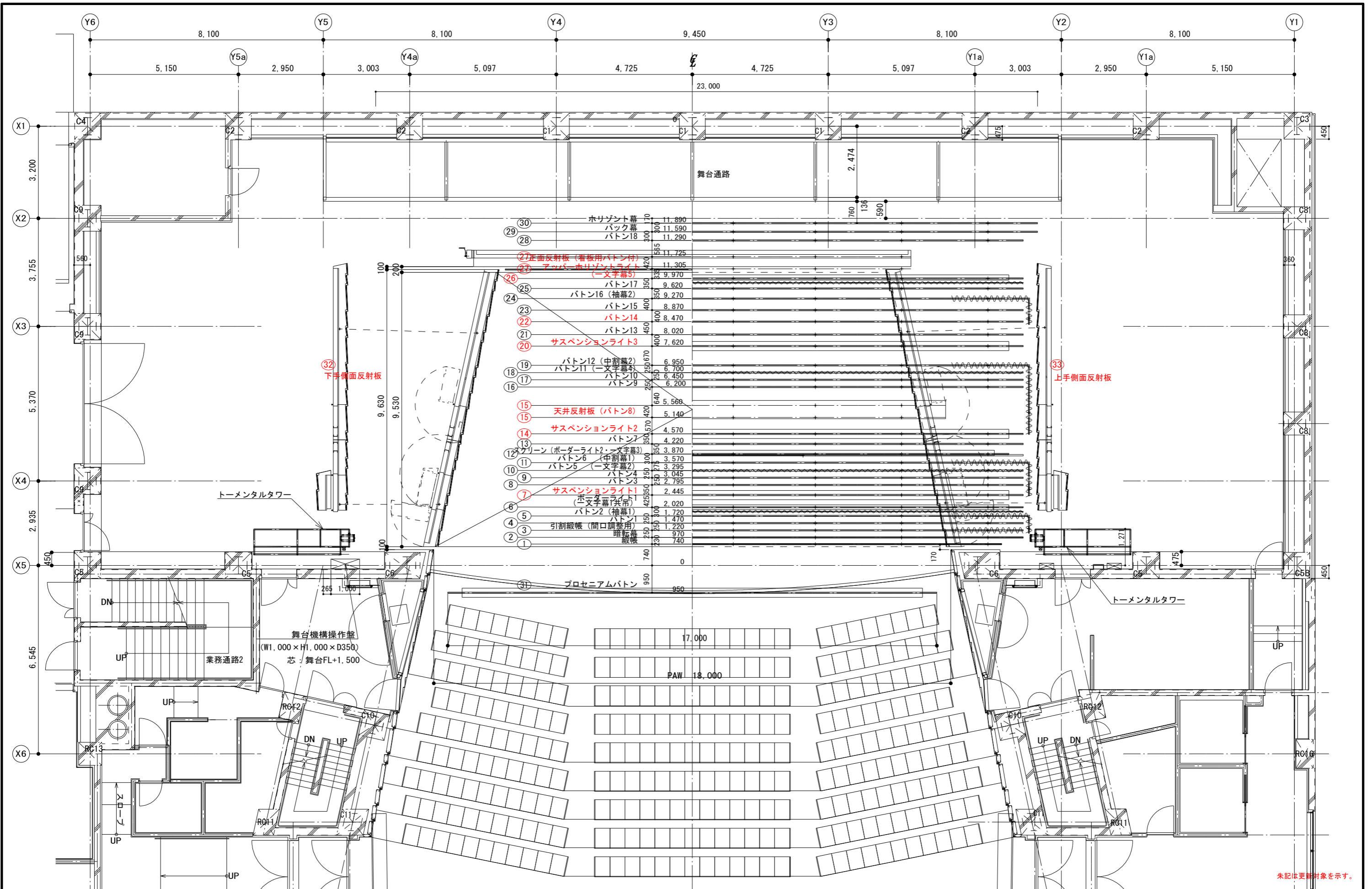


課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名	三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図
-----	--------------------------

図面名称	断面図	縮尺	1/60	図面番号	M-04
------	-----	----	------	------	------

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。

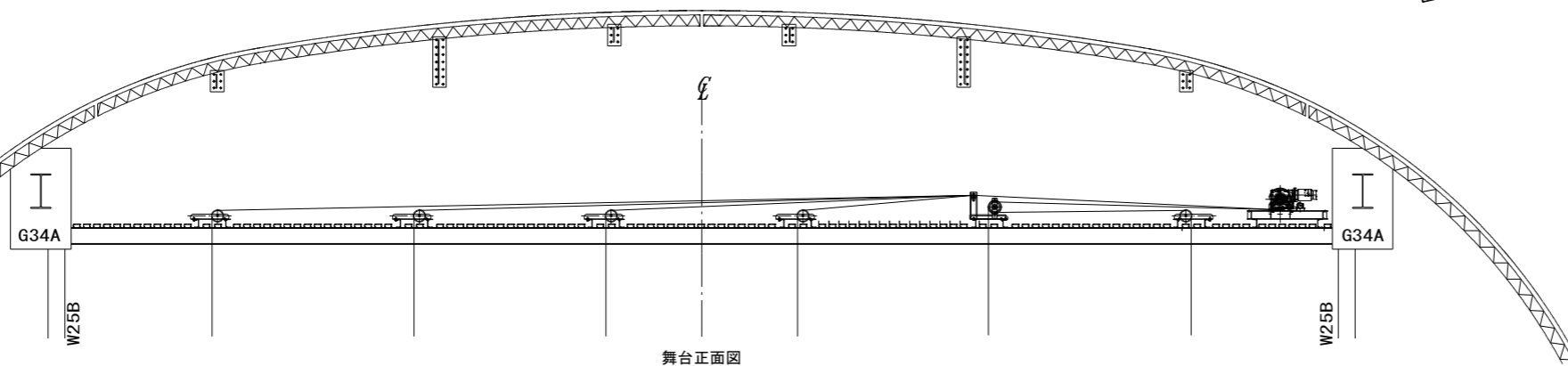
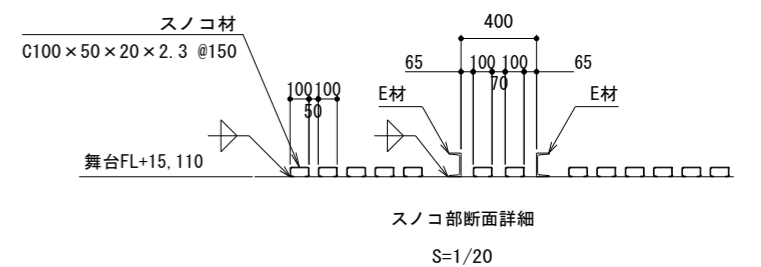
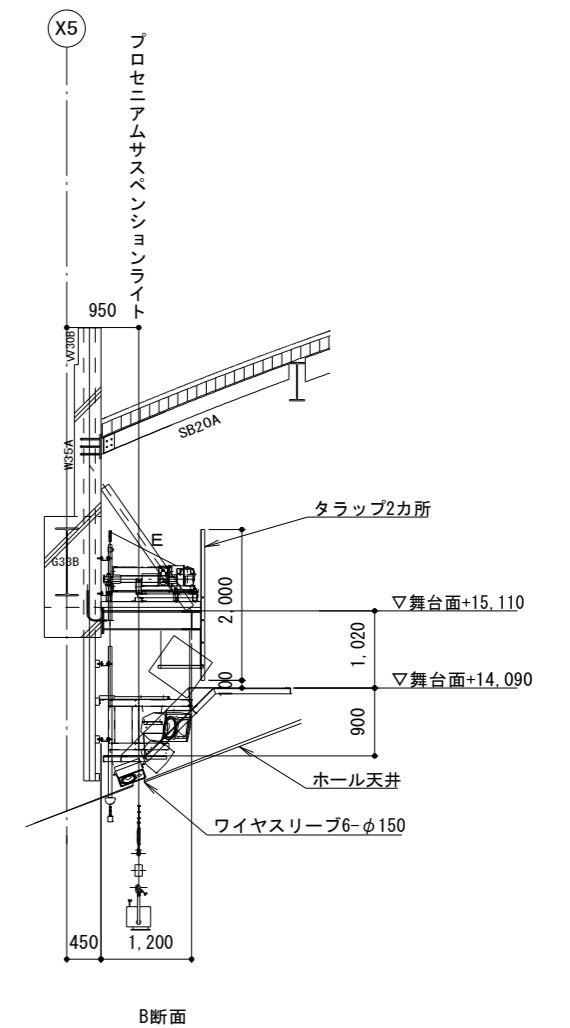
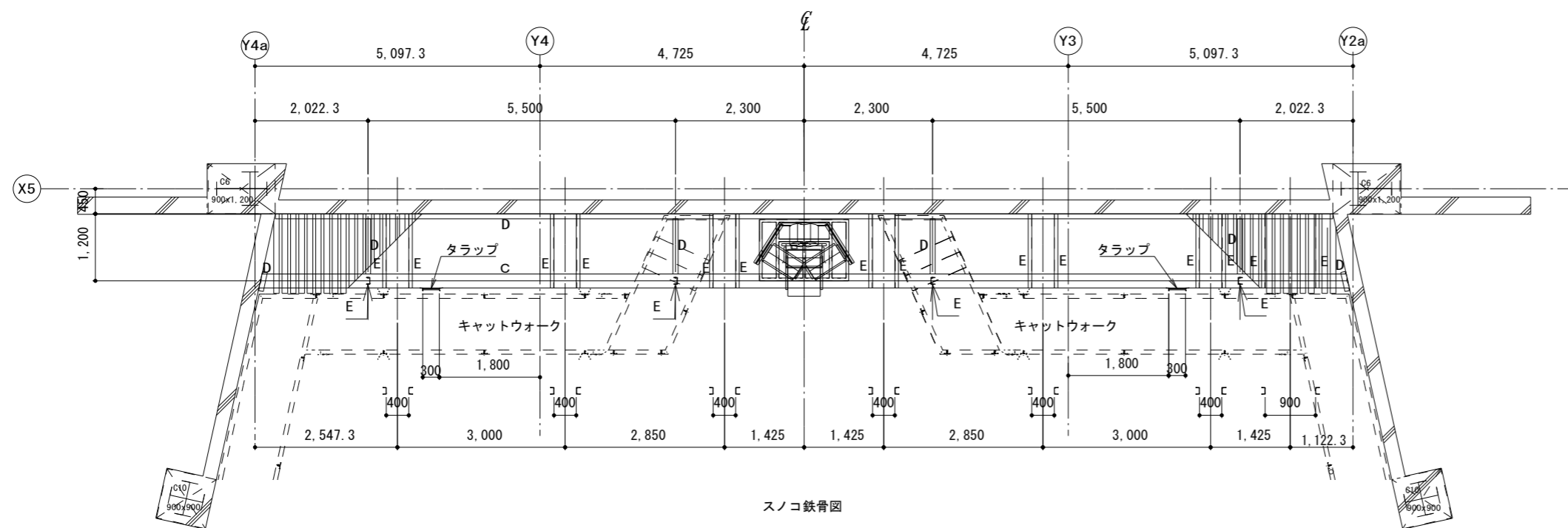
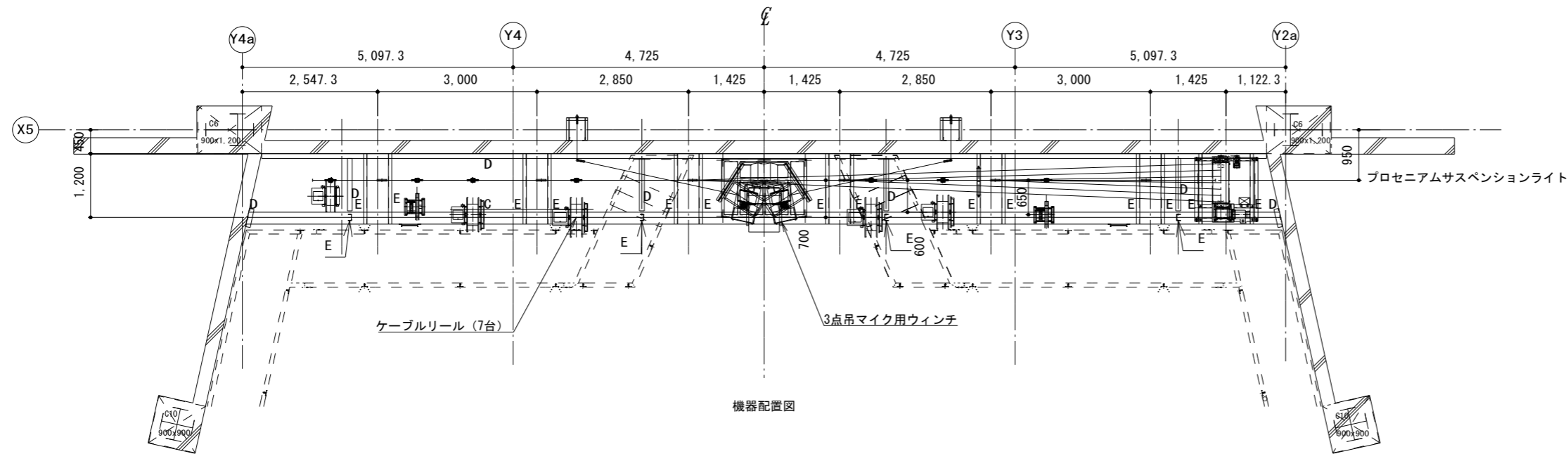


- ③① プロセニアムバトン 950
- ③② 27正面反射板(看板用バトン付)
- ③③ 27アッパーホリゾンタルライト(一文字幕5)
- ②⑥ バトン17 9,620
- ②④ バトン16(袖幕2) 9,270
- ②③ バトン15 8,870
- ②② バトン14 8,470
- ②① バトン13 8,020
- ②⑦ サスペンションライト3 7,620
- ①⑨ バトン12(中割幕2) 6,950
- ①⑧ バトン11(一文字幕4) 6,700
- ①⑦ バトン10 6,450
- ①⑥ バトン9 6,200
- ①⑤ 天井反射板(バトン8) 5,560
- ①④ サスペンションライト2 4,570
- ①③ バトン7 4,220
- ①② クリーン(ボーダーライト2一文字幕3) 3,870
- ①① バトン6(中割幕1) 3,570
- ①⑩ バトン5(一文字幕2) 3,295
- ①⑨ バトン4 3,045
- ①⑧ バトン3 2,795
- ①⑦ サスペンションライト1 2,445
- ①⑥ 本文字幕1(共用) 2,020
- ①⑤ バトン2(袖幕1) 1,720
- ①④ バトン1 1,470
- ①③ 引割縦帳(間口調整用) 1,220
- ①② 暗転機 970
- ①① 縦帳機 740

朱記は更新対象を示す。

 三原市役所 三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111	課長	係長	設計	校閲	日付	備考	工事名	図面名称	縮尺	図面番号	校の内
							三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図	平面図	1/60	M-05	号図

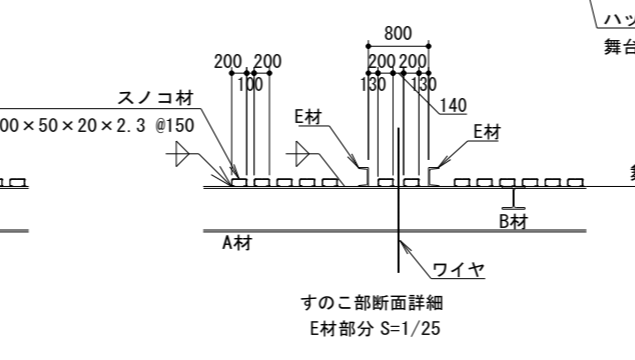
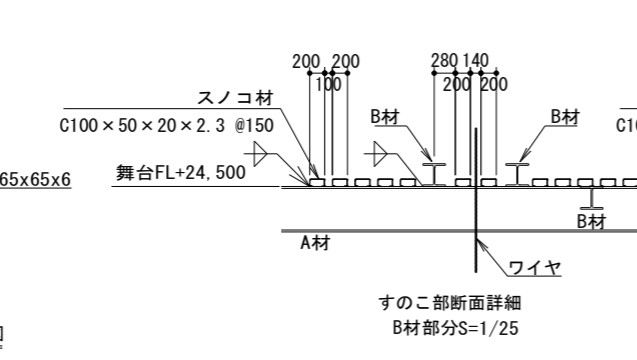
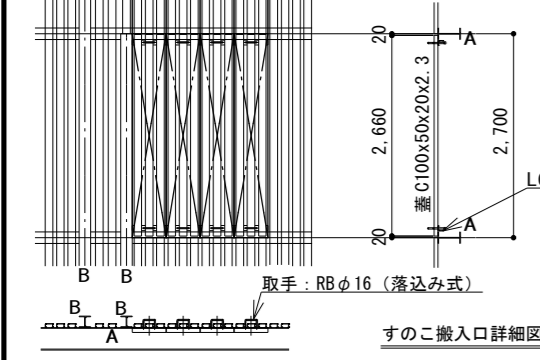
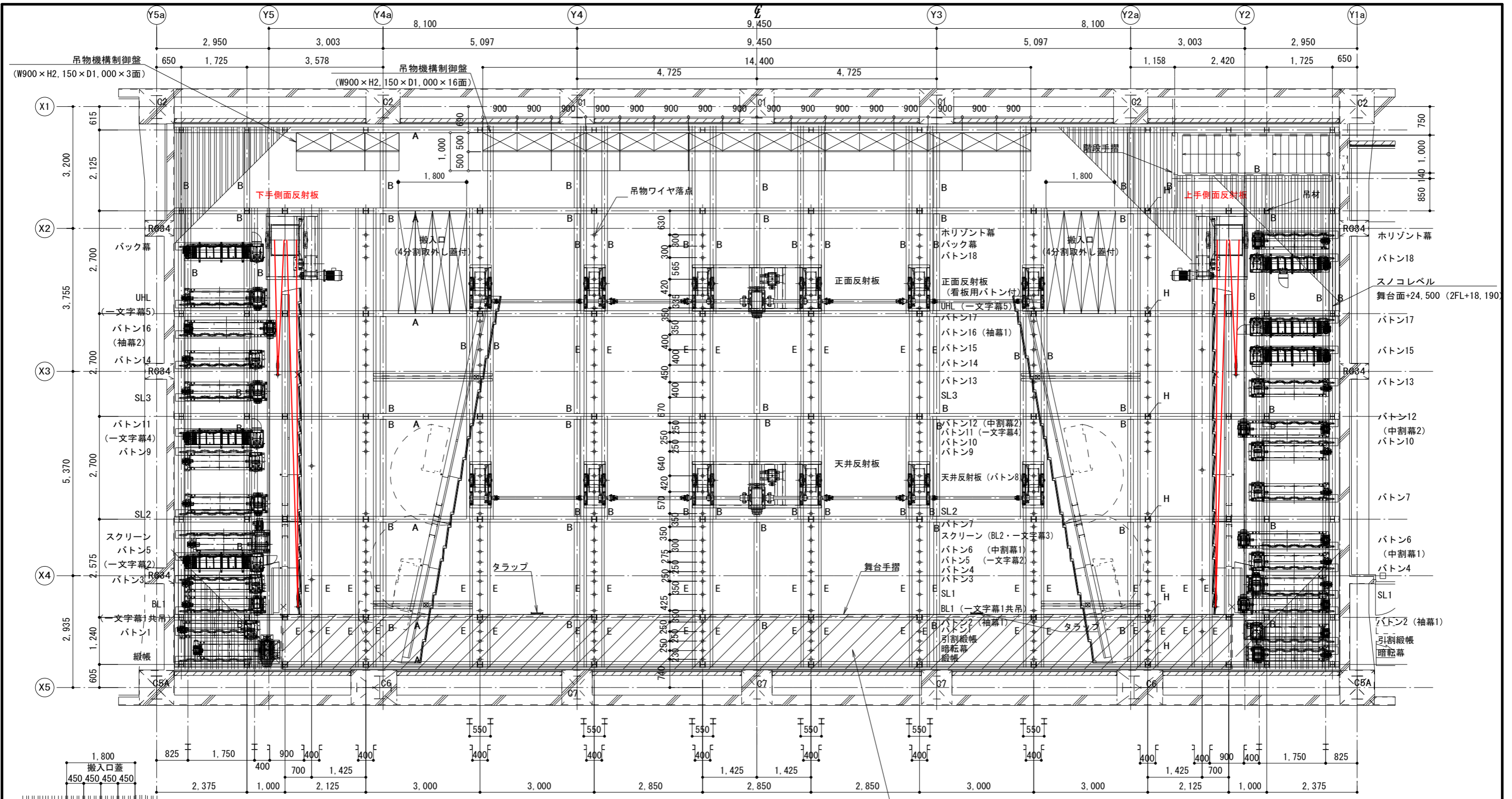
本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。



課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名	三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図
-----	--------------------------

図面名称	客席すのこ機器配置図	縮尺	1/50	図面番号	M-06
------	------------	----	------	------	------



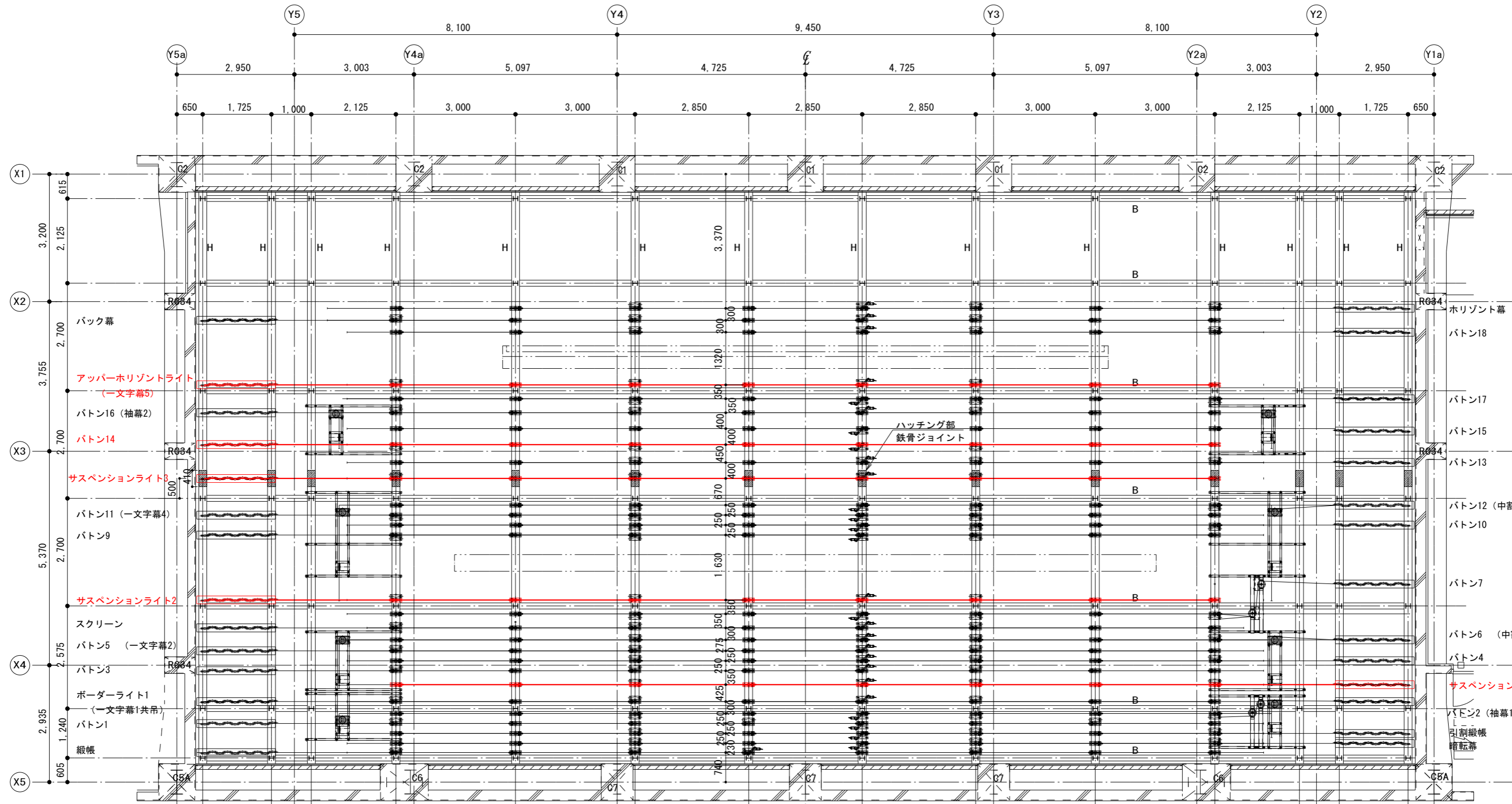
ハッチング部スノコレベルは
舞台面+26,500 (2FL+20,190)

部材リスト

記号	部材
A	H-300x150x6.5x9
B	H-150x150x7x10
C	H-250x250x9x14
D	C-250x90x9
E	C-125x65x6
F	L-50x50x6
G	H-175x175x7.5x11
H	H-200x200x8x12
吊材	H-125x125x6.5x9
スノコ	C-100x50x20x2.3 @150

※ 朱記は更新対象を示す。

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。



舞台面+27,300 (2FL+20,990)
 ※A材、B材の鉄骨下部フランジレベルを示す
 S=1:100

部材リスト

記号	部材
A	H-300x150x6.5x9
B	H-150x150x7x10
C	H-250x250x9x14
D	C-250x90x9
E	C-125x65x6
F	L-50x50x6
G	H-175x175x7.5x11
H	H-200x200x8x12
吊材	H-125x125x6.5x9
スノコ	C-100x50x20x2.3 @150

朱記は更新対象を示す。

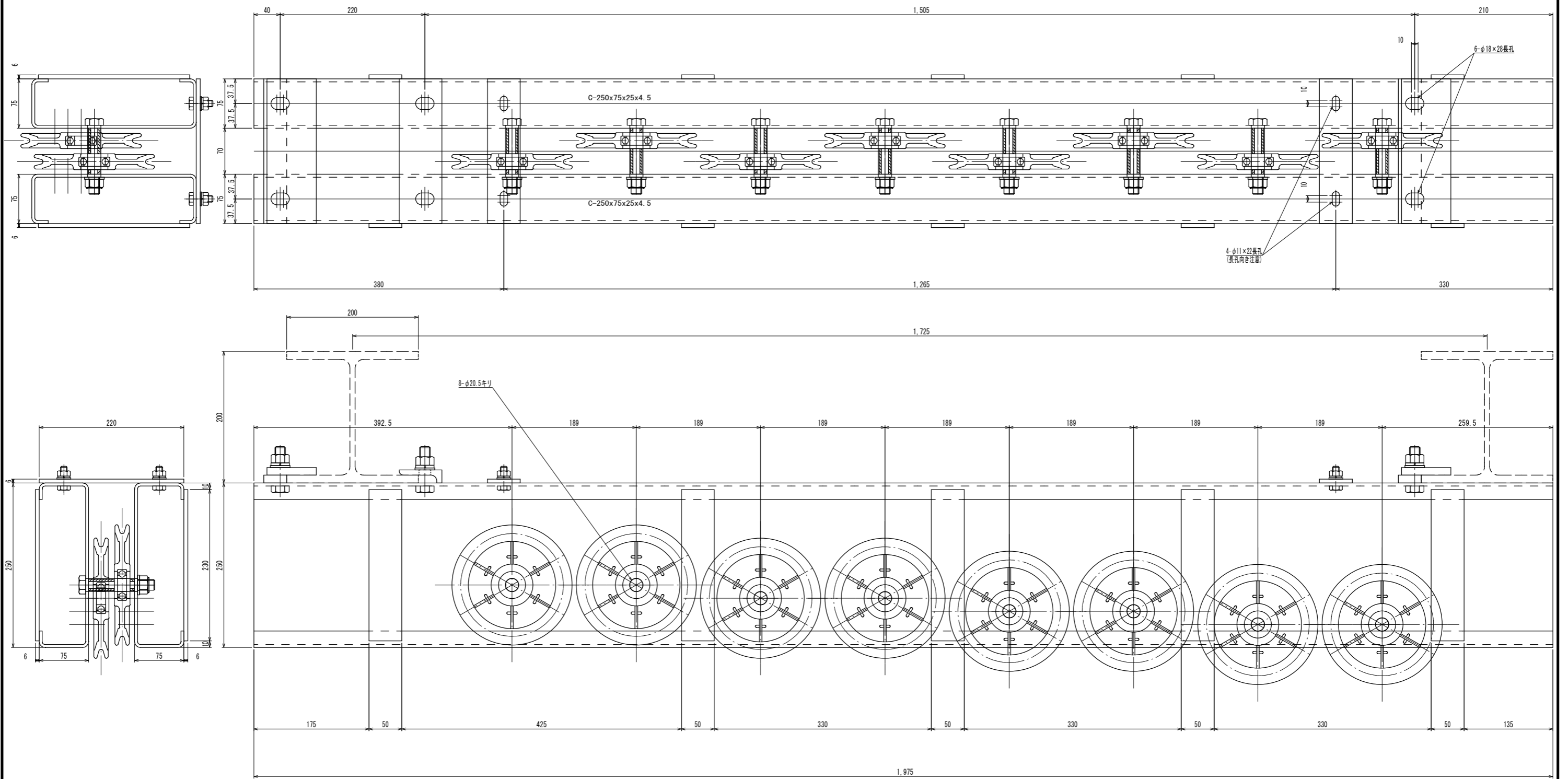
三原市役所
 三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名 **三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図**

図面名称 **上段すのこ機器配置図**
 縮尺 1/50
 図面番号 M-08
 校の内 号図

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。



参考図



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図

図面名称

元滑車参考図

縮尺

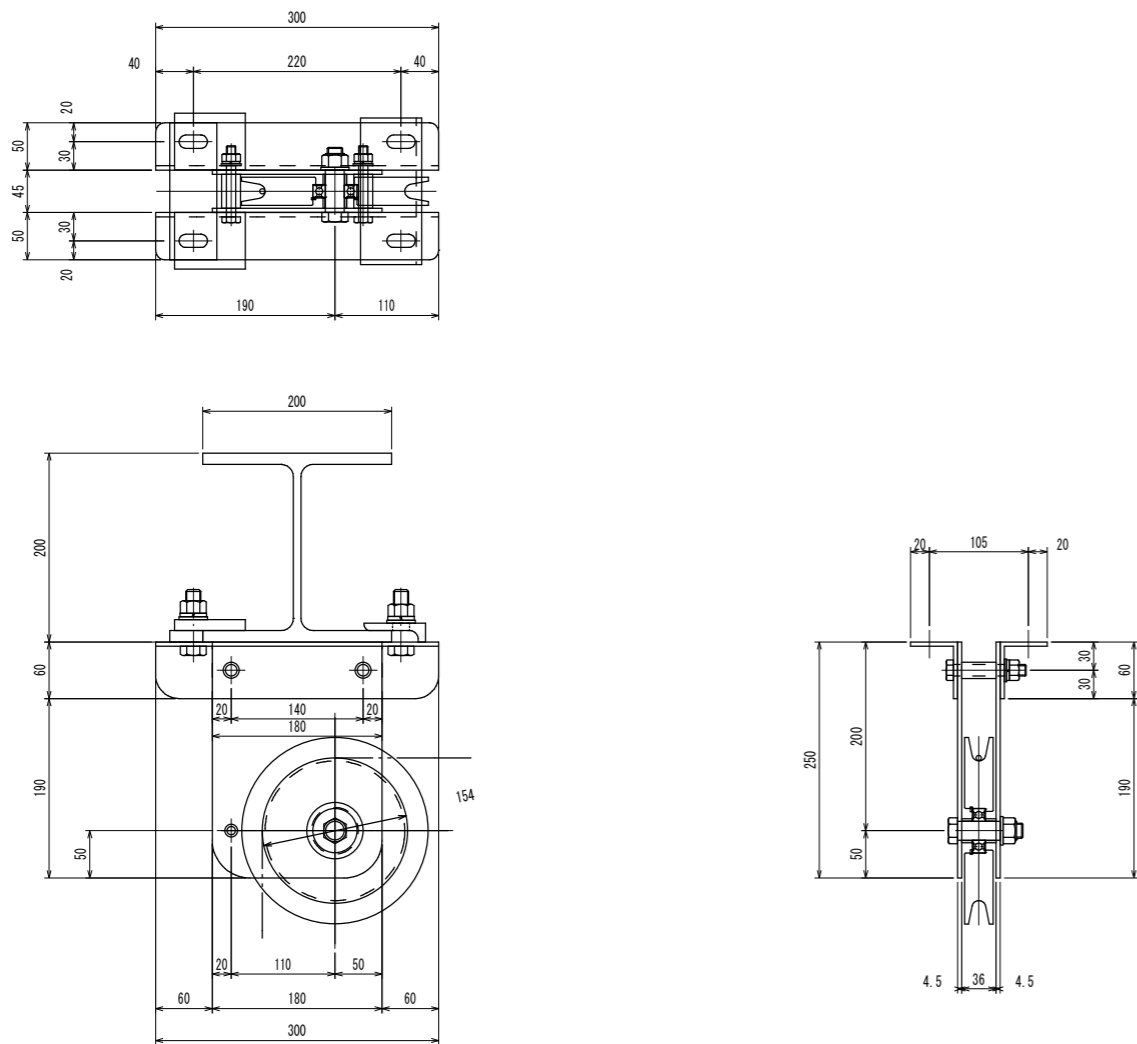
1/3

図面番号

M-09

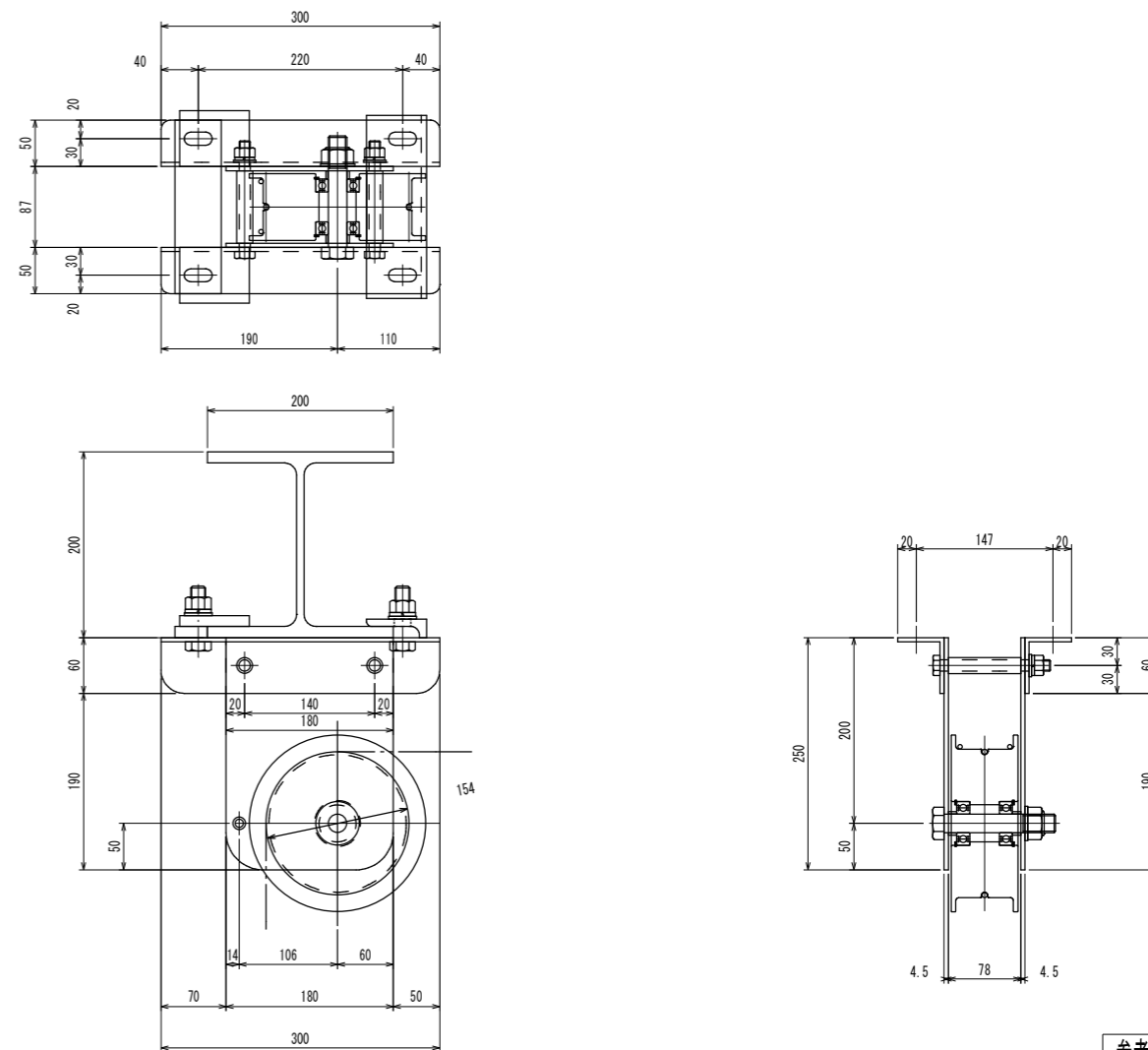
校の内
号図

枝滑車 (一本溝用)



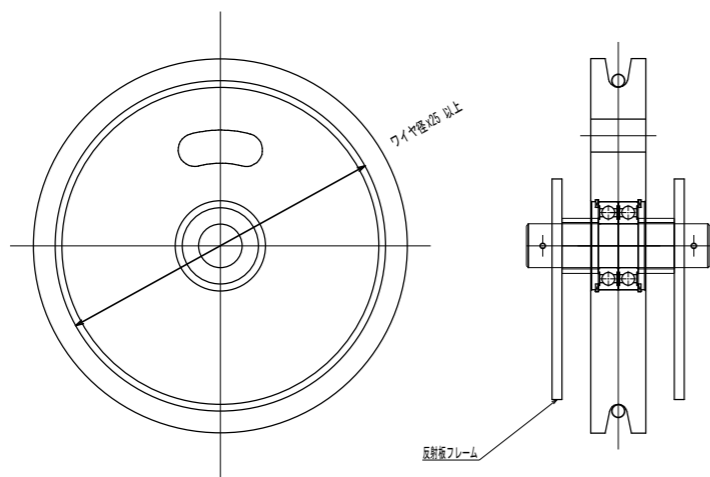
参考図

枝滑車 (幅広用)



参考図

動滑車

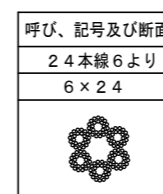


参考図

ワイヤロープ

JIS規格ワイヤ仕様

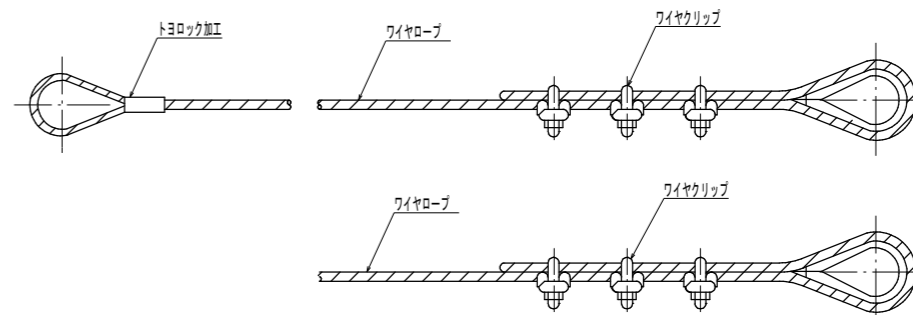
6×24の破断荷重 (JIS G 3525)	
ロープ径 (mm)	普通より
	めっき
	G種
6	破断荷重=16.5 kN
8	破断荷重=29.3 kN
9	破断荷重=37.1 kN
14	破断荷重=89.7 kN
16	破断荷重=117 kN
18	破断荷重=148 kN



6×19の破断荷重 (JIS G 3525準拠)	
ロープ径 (mm)	普通より
	めっき
	G種
4	破断荷重=8.03 kN
6	破断荷重=18.1 kN



ワイヤ加工図



参考図



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図

図面名称

枝滑車・動滑車・ワイヤロープ参考図

縮尺

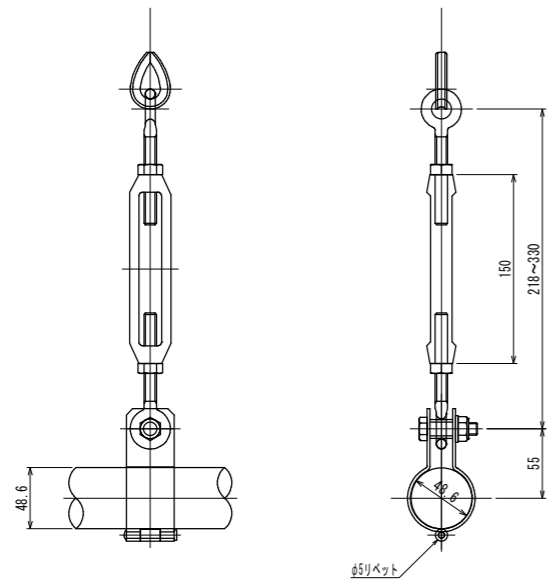
1/4

図面番号

M-10

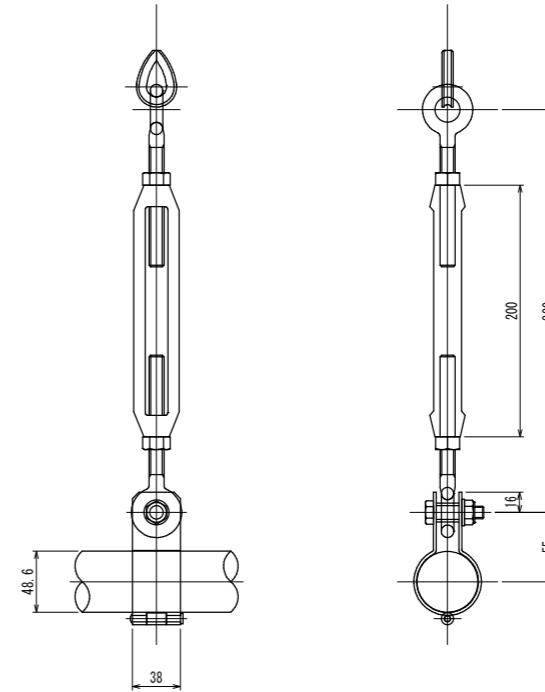
校の内
号図

バトン吊金具 4mm・5mm用



参考図

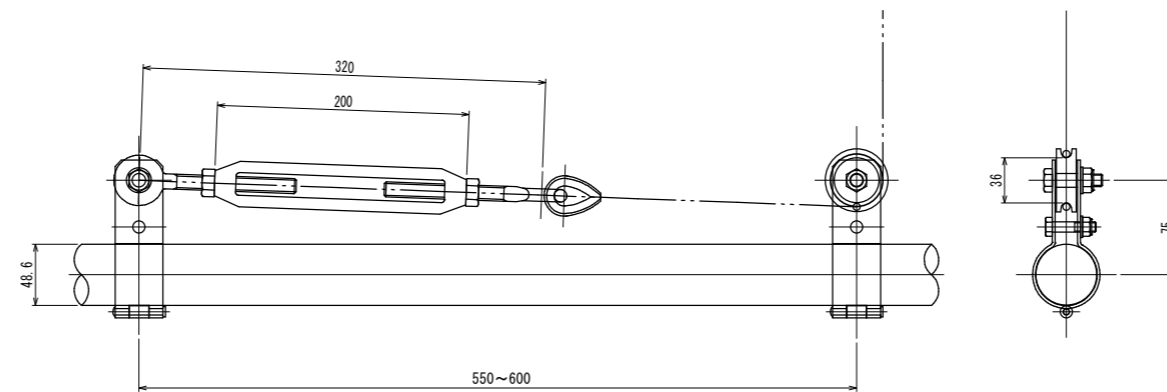
バトン吊金具 6mm用



参考図

バトン吊金具 横引き兼用

横吊使用



参考図



三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲

日付	。	。
	。	。

備考

工事名

三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事設計図

図面名称

バトン吊り金具参考図

縮尺

1/3

図面番号

M-11

校の内
号図

本図面は、A1をA3(50.0%)に縮小しています。

参 考 数 量 書

工 事 名 称

三原市芸術文化センター舞台吊物設備更新工事

[工事概要]

三原市宮浦二丁目

用途, 構造, 面積

工 事 範 囲

舞台機構設備工事

別 途 発 注 工 事

なし

工 期

契約締結日の翌日から 令和 9年3月11日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設 計 金 額 ￥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
舞台機構設備改修工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

舞台機構設備工事 細目別内訳

舞台機構設備工事		舞台吊物機構設備		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サスペンションライト1		1	式			別紙 00-0001
サスペンションライト2		1	式			別紙 00-0002
天井反射板 昇降		1	式			別紙 00-0003
天井反射板 変角		1	式			別紙 00-0004
サスペンションライト3		1	式			別紙 00-0005
パト14		1	式			別紙 00-0006
アッパーホリゾントライト		1	式			別紙 00-0007
正面反射板 昇降		1	式			別紙 00-0008
側面反射板 上手 ・ 下手		1	式			別紙 00-0009
据付・撤去費		1	式			
運搬・搬入費		1	式			
計						

舞台機構設備工事 別紙明細

舞台機構設備工事		舞台吊物機構設備		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
サスペンションライト1		1	式			別紙 00-0001
ワイヤーロープ	φ6	440	m			
吊金具		8	組			
枝滑車		8	台			
元滑車		1	台			
計						
サスペンションライト2		1	式			別紙 00-0002
ワイヤーロープ	φ6	440	m			
吊金具		8	組			
枝滑車		8	台			
元滑車		1	台			
計						

舞台機構設備工事 別紙明細

舞台機構設備工事		舞台吊物機構設備		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井反射板 昇降		1	式			別紙 00-0003
ワイヤーロープ	φ16 G種	420	m			
動滑車		6	台			
計						
天井反射板 変角		1	式			別紙 00-0004
ワイヤーロープ	φ9 G種	270	m			
計						
サスペンションライト3		1	式			別紙 00-0005
ワイヤーロープ	φ6	440	m			
吊金具		8	組			
枝滑車		8	台			
元滑車		1	台			
計						

舞台機構設備工事 別紙明細

舞台機構設備工事		舞台吊物機構設備		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ハット14		1	式			別紙 00-0006
ワイヤーロープ	φ6	440	m			
吊金具		8	組			
枝滑車		8	台			
元滑車		1	台			
計						
アッパーホリゾントライト		1	式			別紙 00-0007
ワイヤーロープ	φ6	440	m			
吊金具		8	組			
枝滑車		8	台			
元滑車		1	台			
計						

